



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月25日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス
 コード番号 6676 URL <https://melco-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 寛之
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 中村 智仁
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 03-3523-2250

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	27,036	1.4	1,222	21.0	1,459	14.3	1,079	8.5
2019年3月期第1四半期	26,668	49.7	1,547	12.0	1,702	2.0	1,179	4.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 741百万円 (44.4%) 2019年3月期第1四半期 1,333百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2020年3月期第1四半期	54.77	
2019年3月期第1四半期	57.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期第1四半期	82,985	54,918	66.2	2,786.69
2019年3月期	88,675	54,767	61.7	2,779.07

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 54,898百万円 2019年3月期 54,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)					

(注) 現時点では2020年3月期の配当予想額は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

連結業績予想につきましては、現時点で適切かつ合理的な業績予想の算定が困難なため開示を控えております。なお、当該理由等につきましては、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」に記載しておりますのでご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	22,237,873 株	2019年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,537,468 株	2019年3月期	2,537,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	19,700,405 株	2019年3月期1Q	20,338,037 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善は続いたものの経済状況は足踏み感が見られ、米中貿易摩擦の影響などにより先行き不透明な状況が続きました。また欧米経済も同じく先行き不透明な状況が続く中、個人消費は堅調となりました。

当社グループに係るデジタル家電業界は、パソコン市場において基本ソフトのサポート保守終了需要により法人向けの市場は堅調に推移し、個人向けの市場にも底打ち感が見られました。薄型テレビ市場は低価格化を背景に4K及び有機ELテレビへの買い替えが底支えし堅調に推移しました。スマートフォン及びタブレット市場は一巡感が見られ低迷しました。そして、世界的に需要が減速している半導体商品群は引き続き販売単価の下落傾向が続きました。

一方生めん業界では、家庭用チルドめん市場は人口減少や食の外部化などの要因により縮小しました。業務用冷凍めん市場については人手不足を背景にしたオペレーション簡素化の需要などにより引き続き拡大しました。

こうした状況下で当社グループは、外的環境の変化に耐えうる強固な事業ポートフォリオの構築を目指し経営を推し進めました。IT関連事業においては、縮小する周辺機器市場に対応するため高付加価値商品の販売強化、サービス分野の売上拡大に努めながら、積極的に主力商品の販売活動に注力しました。一方食品事業においては、健康・簡便・個食志向に対応した商品の販売強化を図り、「流水麺」や業務用冷凍麺の売上拡大に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高270億36百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益12億22百万円（同21.0%減）、経常利益14億59百万円（同14.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億79百万円（同8.5%減）となりました。

IT関連事業

法人向け市場において、発売15周年を迎え累計出荷台数100万台を超えた大容量NAS「TeraStation」のユーザーや保守・管理企業のサポート業務の負荷を軽減するリモート管理サービス「キキNavi」によりサポートレベルの向上・効率化をすすめ、高付加価値商品の拡販に努めました。しかし、個人向け市場においては周辺機器市場の競争激化により単価下落を余儀なくされ、販売台数は前年を超えたものの利益は減少しました。

さらにサービス分野においては「バッファロー正規データ復旧サービス」で2019年5月から誤操作によりファイル削除やフォーマットを行った時にもデータを復元する「うっかり削除の復元プラン」を開始、受付件数が累計1万6千件を超えました。一方で賃貸集合住宅向けWi-Fi※インターネットサービス「アパートWi-Fi」は累計導入戸数が6万8千戸を超えたものの、サービス体制のコストが先行しました。

その結果、売上高170億43百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益5億8百万円（同35.0%減）となりました。

食品事業

売上では家庭用は簡便商品の“さっと水でほぐすだけ”でゆでずに簡単に食べられる「流水麺」の売上を拡大、また健康商品の食塩ゼロ・糖質オフの「本うどん」「本そば」シリーズを販売強化しましたが、不採算商品の見直し等もあり売上は減少しました。業務用は大口ユーザーの新規獲得などの取り組みにより売上は増加しました。利益では原材料価格やエネルギーコストなどの高騰が続いているものの、2019年3月より行った商品価格改定や経費削減等の効果があらわれました。

その結果、売上高96億45百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益7億95百万円（同39.5%増）となりました。

金融事業

難しい運用環境が続き、売上高3億47百万円（前年同期比37.7%減）、セグメント利益1億49百万円（同55.2%減）となりました。

※：Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は829億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億89百万円減少しました。流動資産は617億67百万円となり、54億61百万円減少しました。これは主に、有価証券の減少124億円、現金及び預金の増加52億60百万円、受取手形及び売掛金の増加8億7百万円、商品及び製品の増加6億49百万円によるものです。

固定資産は212億17百万円となり、2億28百万円減少しました。これは主に、有形固定資産の減少50百万円、無形固定資産の減少52百万円、投資有価証券の減少1億45百万円によるものです。

負債合計は280億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億40百万円減少しました。流動負債は227億43百万円となり、57億67百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少50億円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億75百万円、未払金の減少2億67百万円、賞与引当金の減少2億29百万円、支払手形及び買掛金の増加3億92百万円によるものです。

固定負債は53億24百万円となり、73百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少2億24百万円、その他の固定負債の増加1億44百万円によるものです。

純資産合計は549億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億50百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益10億79百万円の獲得、配当金の支払額5億91百万円、その他の包括利益累計額の減少3億37百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、経営理念であるメルコバリュー（「千年企業」「顧客志向」「変化即動」「一致団結」）に基づき、持続的な成長を実現し、理念を共有するすべてのステークホルダーのために事業を推進しております。この基本方針に基づき、成長への投資と安定した株主還元を両立し、持続的な株主価値の向上に努めておりますが、IT関連事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。食品事業においては、原材料価格・エネルギーコストの高騰や人手不足など解決すべき課題が顕在化しております。

このような状況下で、売上伸長に頼らずとも利益を生み出せる経営を推し進めていくため、IT関連事業においては引き続き「アパートWi-Fi」の導入数拡大と、「バッファロー正規データ復旧サービス」の受付数拡大に努めてまいります。食品事業においては成長市場である業務用冷凍麺の量的拡大、簡便商品である「流水麺」などの高付加価値商品の拡大に努めてまいります。また、今後もロスコストの削減、サービス拠点の拡大と合理化及び事業の拡大のためのM&Aなどを積極的かつ迅速に行なってまいります。さらにグループ資産を全社的に立って有効活用することで、課題解決に取り組んでまいります。

こうした取り組みを背景とした企業活動の動向を短期的な視点で見極めることは極めて困難であることから、2020年3月期の連結業績予想について公開を控えております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,117	12,377
受取手形及び売掛金	13,920	14,727
有価証券	33,000	20,600
商品及び製品	8,066	8,715
原材料及び貯蔵品	3,188	3,455
その他	1,948	1,906
貸倒引当金	△10	△14
流動資産合計	67,229	61,767
固定資産		
有形固定資産	14,264	14,213
無形固定資産	1,068	1,015
投資その他の資産		
投資有価証券	4,246	4,100
その他	1,891	1,911
貸倒引当金	△24	△23
投資その他の資産合計	6,113	5,988
固定資産合計	21,446	21,217
資産合計	88,675	82,985
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,385	12,777
電子記録債務	534	455
短期借入金	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,074	899
未払費用	2,192	2,201
未払法人税等	445	309
未払金	2,470	2,203
前受収益	2,601	2,534
賞与引当金	373	143
役員賞与引当金	28	3
製品保証引当金	79	78
その他	1,324	1,137
流動負債合計	28,510	22,743
固定負債		
長期借入金	2,759	2,535
退職給付に係る負債	1,965	1,965
役員退職慰労引当金	242	249
リサイクル費用引当金	147	147
その他	282	426
固定負債合計	5,397	5,324
負債合計	33,907	28,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,411	4,411
利益剰余金	57,441	57,929
自己株式	△7,973	△7,973
株主資本合計	54,878	55,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	△123
繰延ヘッジ損益	28	△39
為替換算調整勘定	△160	△174
退職給付に係る調整累計額	△144	△129
その他の包括利益累計額合計	△130	△467
新株予約権	19	19
純資産合計	54,767	54,918
負債純資産合計	88,675	82,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	26,668	27,036
売上原価	19,199	19,929
売上総利益	7,468	7,106
販売費及び一般管理費	5,921	5,884
営業利益	1,547	1,222
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	232	193
為替差益	—	0
その他	23	53
営業外収益合計	255	248
営業外費用		
支払利息	3	4
為替差損	32	—
持分法による投資損失	52	1
支払手数料	1	1
その他	11	4
営業外費用合計	100	11
経常利益	1,702	1,459
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	200	—
その他	0	—
特別利益合計	200	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	11	7
段階取得に係る差損	101	—
その他	—	1
特別損失合計	112	8
税金等調整前四半期純利益	1,790	1,450
法人税、住民税及び事業税	353	259
法人税等調整額	258	112
法人税等合計	611	371
四半期純利益	1,179	1,079
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,179	1,079

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,179	1,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	△270
繰延ヘッジ損益	94	△68
為替換算調整勘定	5	△14
退職給付に係る調整額	8	14
その他の包括利益合計	154	△337
四半期包括利益	1,333	741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,333	741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	IT関連	食品	金融	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,202	9,906	557	26,666	1	26,668
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1,669	1,669
計	16,202	9,906	557	26,666	1,670	28,337
セグメント損益	782	569	332	1,685	1,185	2,871

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,685
「その他」の区分の利益	1,185
セグメント間取引消去	△1,323
四半期連結損益計算書の営業利益	1,547

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	IT関連	食品	金融	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,043	9,645	347	27,035	0	27,036
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1,444	1,444
計	17,043	9,645	347	27,035	1,444	28,480
セグメント損益	508	795	149	1,453	1,097	2,550

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,453
「その他」の区分の利益	1,097
セグメント間取引消去	△1,327
四半期連結損益計算書の営業利益	1,222